

ADVANTEST®

2021年度（2022年3月期） 第2四半期決算説明会

2021年10月28日
株式会社アドバンテスト

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

ご注意

会計基準について

- 本プレゼンテーション資料に記載されている実績や見通し数値は、国際会計基準（IFRS）に基づいて作成しています。

将来の事象に係る記述に関する注意

- 本プレゼンテーション資料およびアドバンテスト代表者が口頭にて提供する情報には、将来の事象についての、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれております。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているものまたは暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

本資料の利用について

- 本プレゼンテーション資料に記載されている情報は、各国の著作権法、特許法、商標法、意匠法等の知的財産権法その他の法律及び各種条約で保護されています。事前に当社の文書による承諾を得ない限り、法律によって明示的に認められる範囲を超えて、これらの情報を使用（改変、複製、転用等）することを禁止します。



2021年度第2四半期決算報告

取締役 兼 経営執行役員

CFO & CCO (Chief Financial Officer & Chief Compliance Officer)

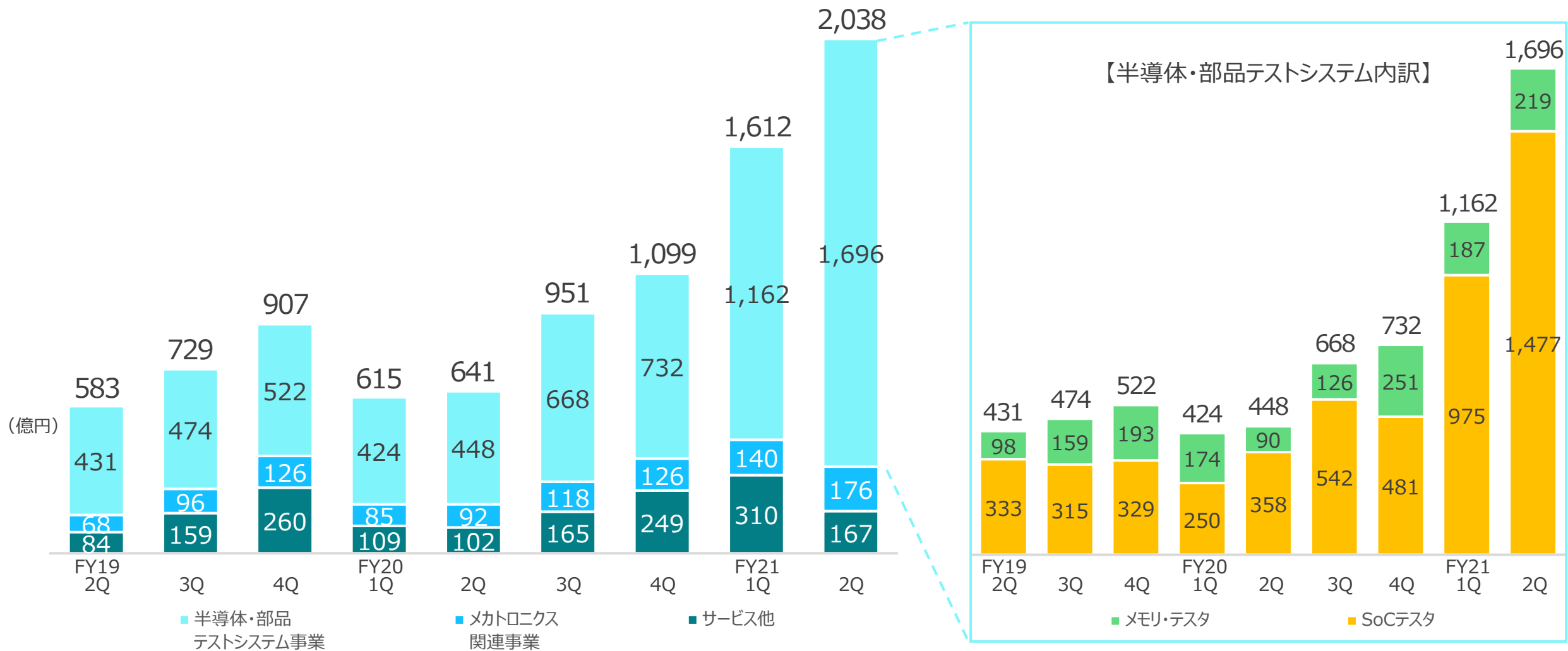
管理本部長 藤田 敦司

四半期業績推移

(億円)

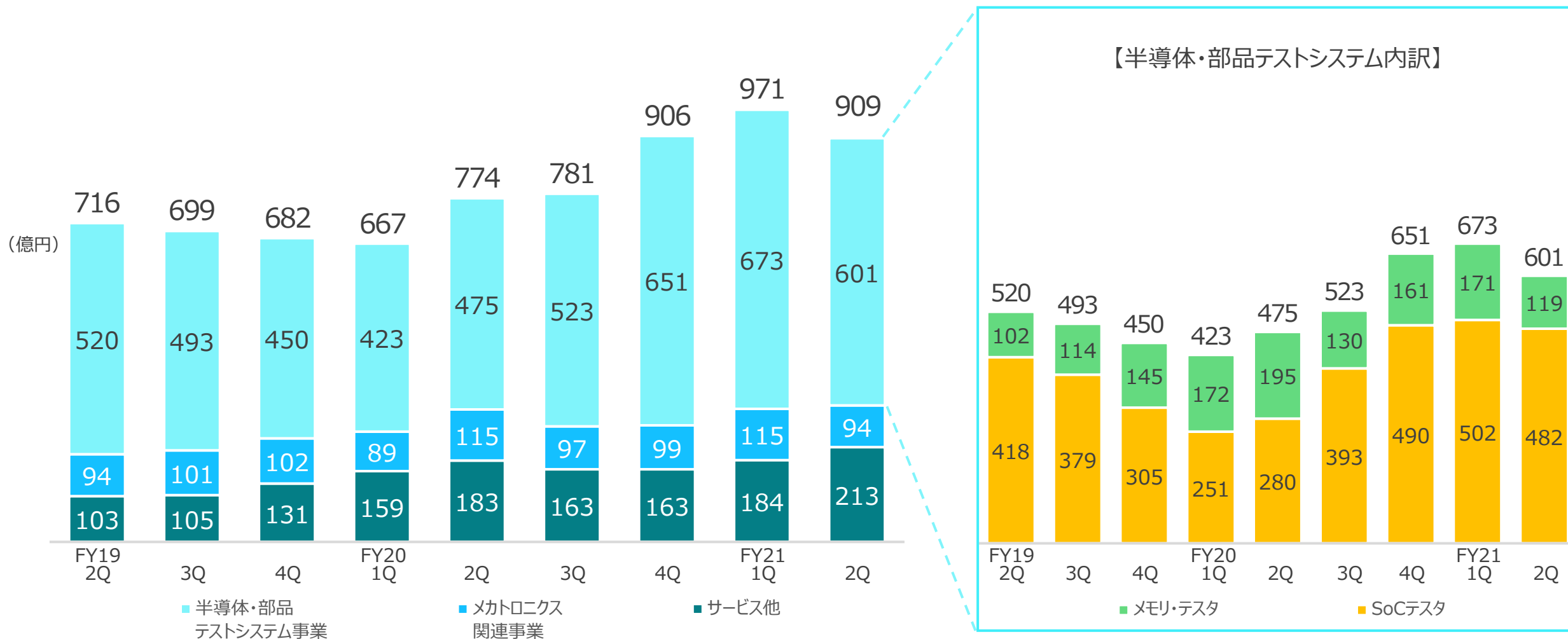
	FY20				FY21							
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q		前期比		前年同期比		
						予想	実績	増減額	増減率	増減額	増減率	
受注高	615	641	951	1,099	1,612	988	2,038	+426	+26.4%	+1,396	+3.2倍	
売上高	667	774	781	906	971	939	909	-62	-6.4%	+135	+17.4%	
売上総利益	380	416	402	485	547	-	501	-47	-8.7%	+83	+20.0%	
売上総利益率	56.9%	53.9%	51.5%	53.5%	56.4%	-	55.0%	-1.4pts		+1.1pts		
営業利益	135	174	153	245	261	235	214	-48	-18.3%	+39	+22.2%	
営業利益率	20.2%	22.6%	19.5%	27.1%	26.9%	25.0%	23.5%	-3.4pts		+0.9pts		
税引前四半期利益	129	164	139	264	257	235	216	-42	-16.4%	+51	+31.0%	
四半期利益	106	139	120	333	193	176	159	-34	-17.8%	+20	+14.1%	
四半期利益率	15.8%	18.0%	15.4%	36.7%	19.9%	18.7%	17.5%	-2.4pts		-0.5pts		
受注残	857	725	895	1,088	1,729	1,778	2,858	+1,129	+65.3%	+2,134	+3.9倍	
為替レート	1米ドル	108円	107円	105円	104円	109円	110円	110円	1円 円安	3円 円安		
	1ユーロ	118円	123円	124円	127円	131円	135円	131円	-	8円 円安		

四半期受注高 事業セグメント別



*合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれます

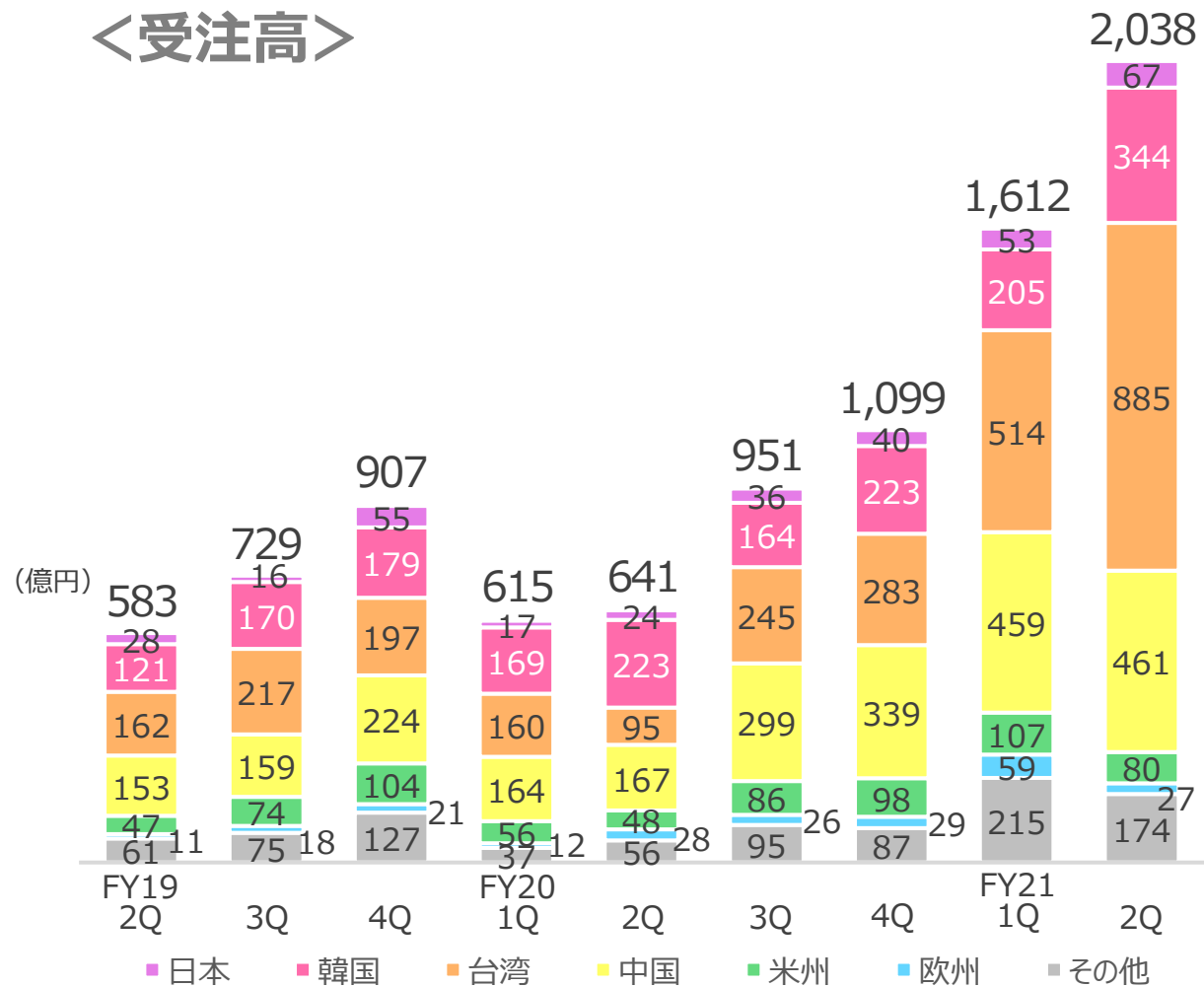
四半期売上高 事業セグメント別



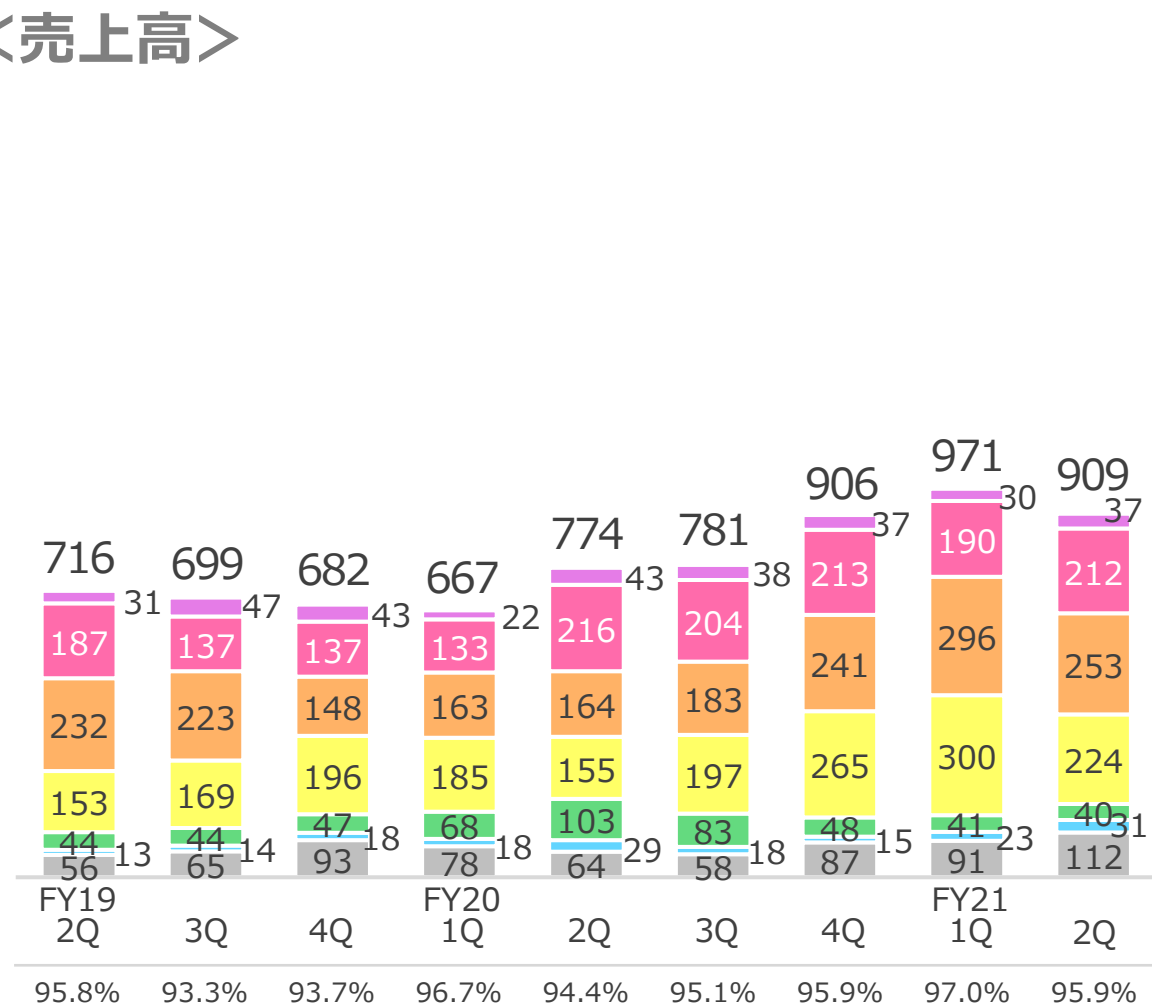
*合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれます

四半期受注高/売上高 地域(出荷先)別

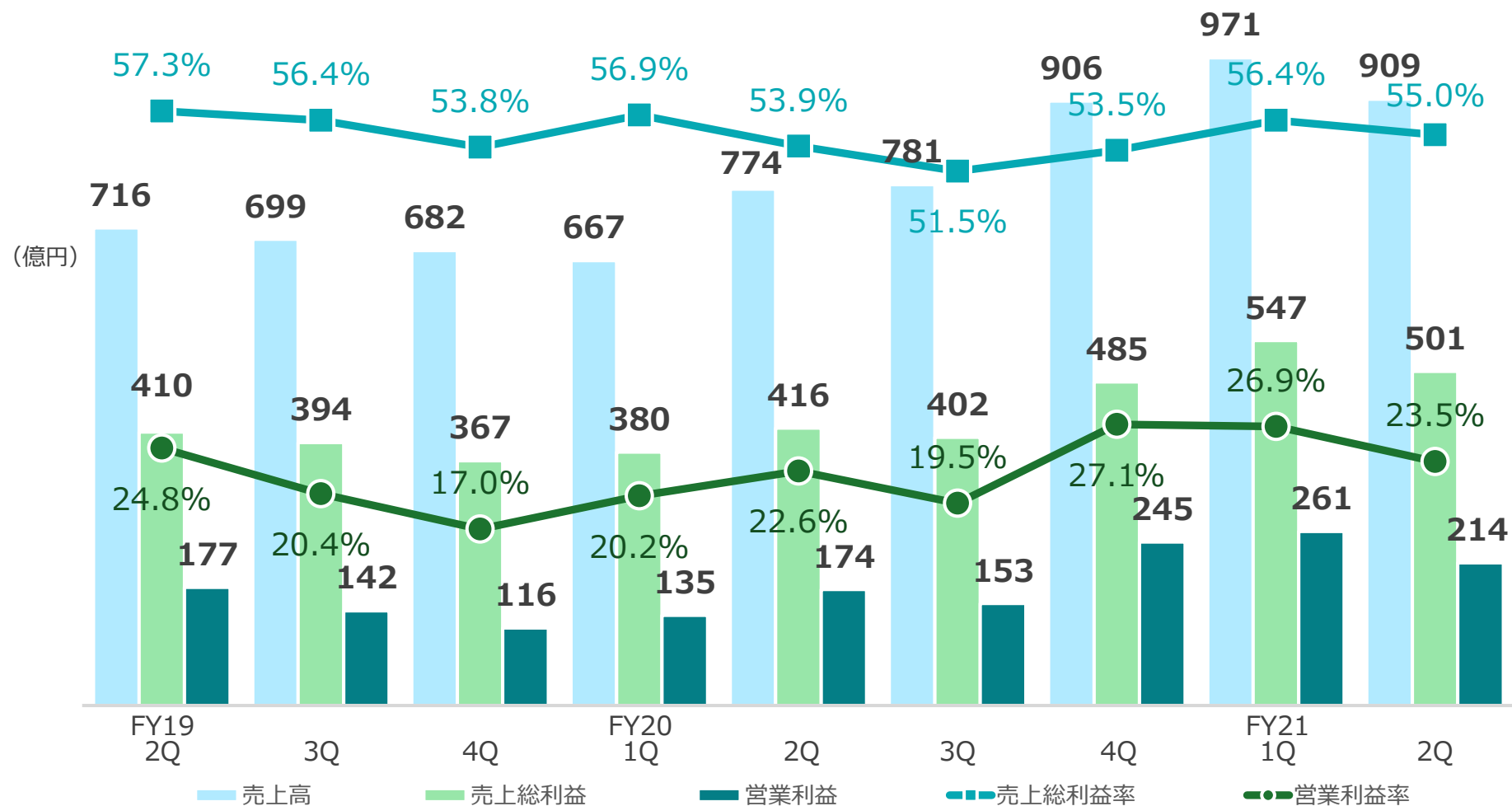
<受注高>



<売上高>



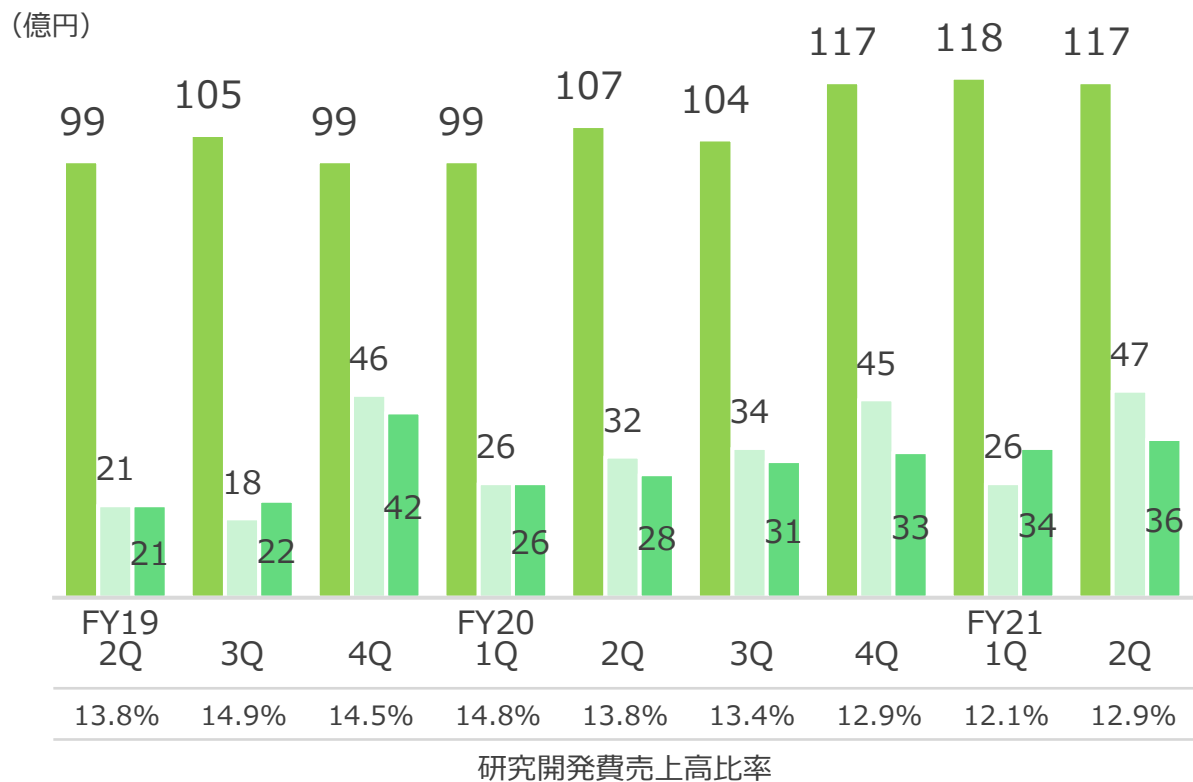
売上高/売上総利益/営業利益



投資等/キャッシュ・フロー

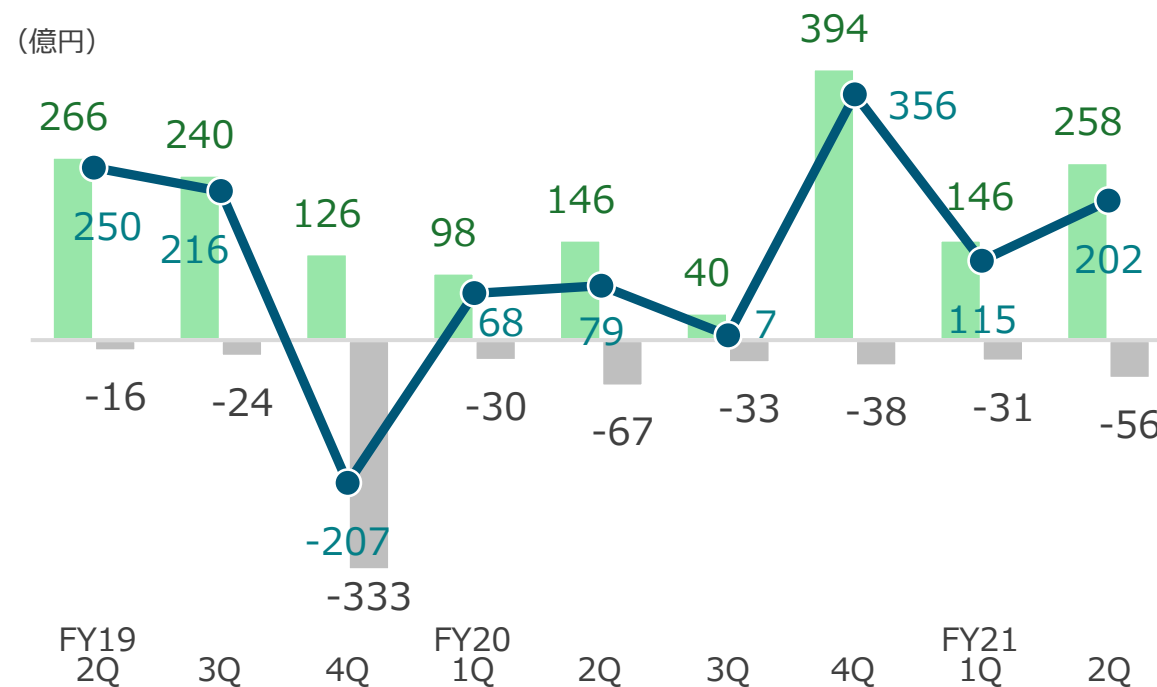
<投資等>

- 研究開発費
- 設備投資
- 減価償却費



<キャッシュ・フロー>

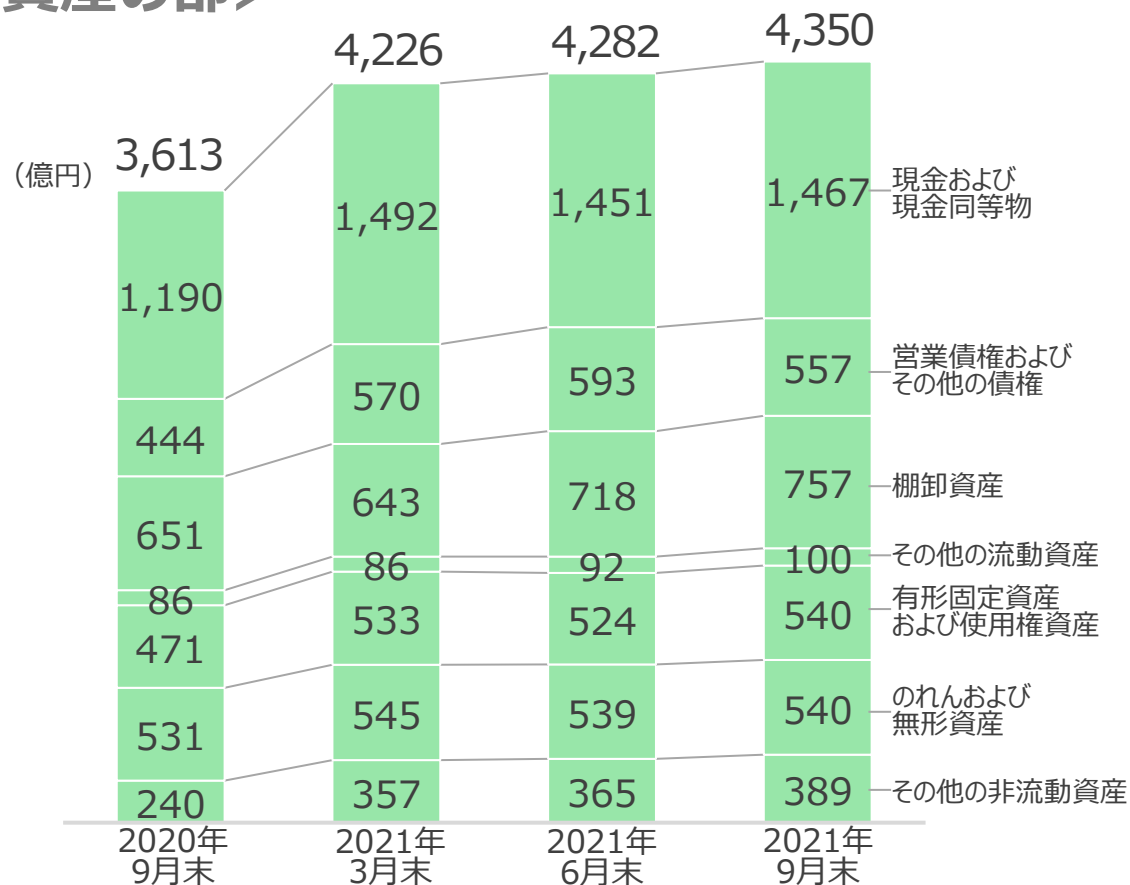
- 営業キャッシュ・フロー
- 投資キャッシュ・フロー
- フリー・キャッシュ・フロー



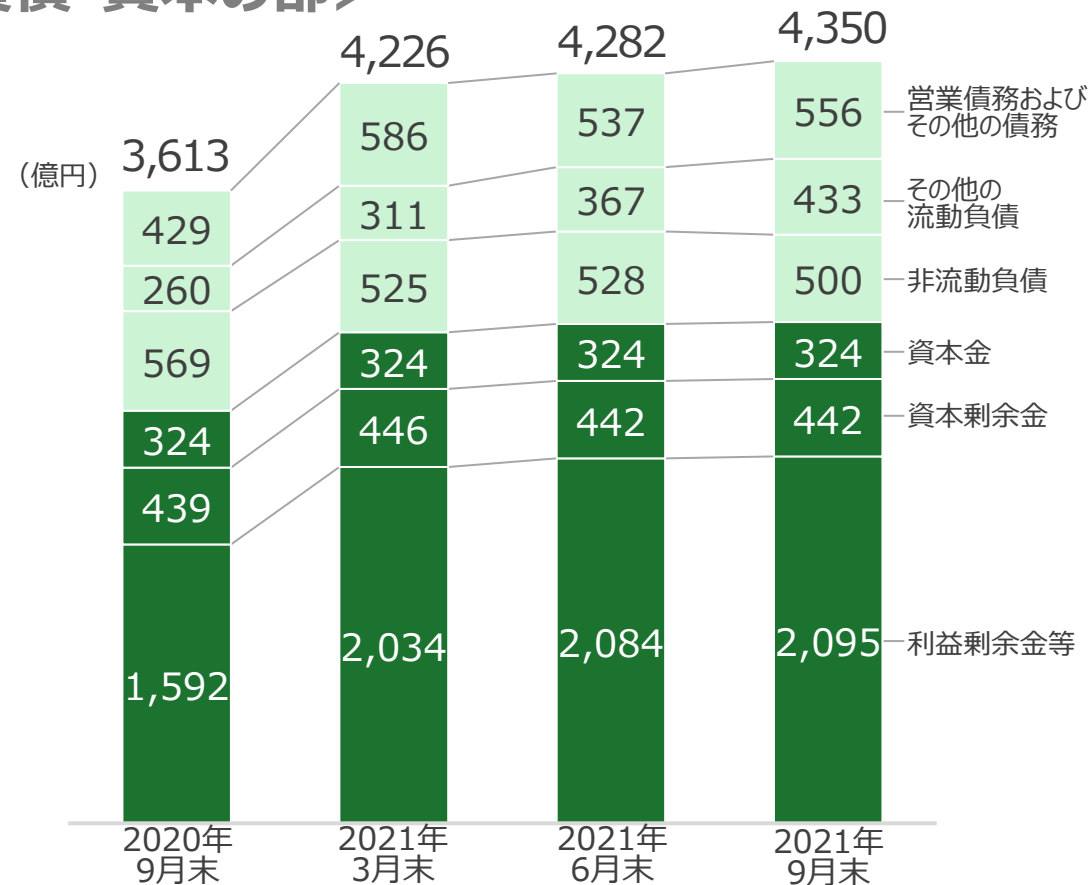
*フリー・キャッシュ・フロー = 営業キャッシュ・フロー + 投資キャッシュ・フロー

連結財政状態

<資産の部>



<負債・資本の部>



親会社の所有者に 帰属する持分	2,355	2,804	2,850	2,861
親会社所有者 帰属持分比率	65.2%	66.3%	66.6%	65.8%

2021年度事業見通し

代表取締役 兼 執行役員社長（CEO）
吉田 芳明

半導体テスタ市場の動向 <21年10月時点の見方>

CY21予想

半導体高性能化に向けた積極投資の進展と活発な生産能力増強投資を受け、全体として約\$5.5Bを見込む (YoY+30%)

–SoCテスタ市場規模: 約\$4.1Bに引き上げ

- ハイエンドSoC向けなど、先端プロセス周辺のテスト能力拡充投資が市場を力強く拡大
- 加えて、成熟プロセスを採用する多様な半導体に対する積極的な能力増強投資が進展

–メモリ・テスタ市場規模: 約\$1.4B (前回7月予想から変更なし)

- 微細化、多層化、高速化/広帯域化などのデバイス進化が、テスタ需要を持続的に牽引中

	CY20実績	CY21推定
SoCテスタ市場	約\$3.0B	約\$4.1B (7月時点推定: 約\$3.8B)
メモリ・テスタ市場	約\$1.2B	約\$1.4B (7月時点推定: 約\$1.4B)

Source: Advantest

FY21業績予想

(億円)

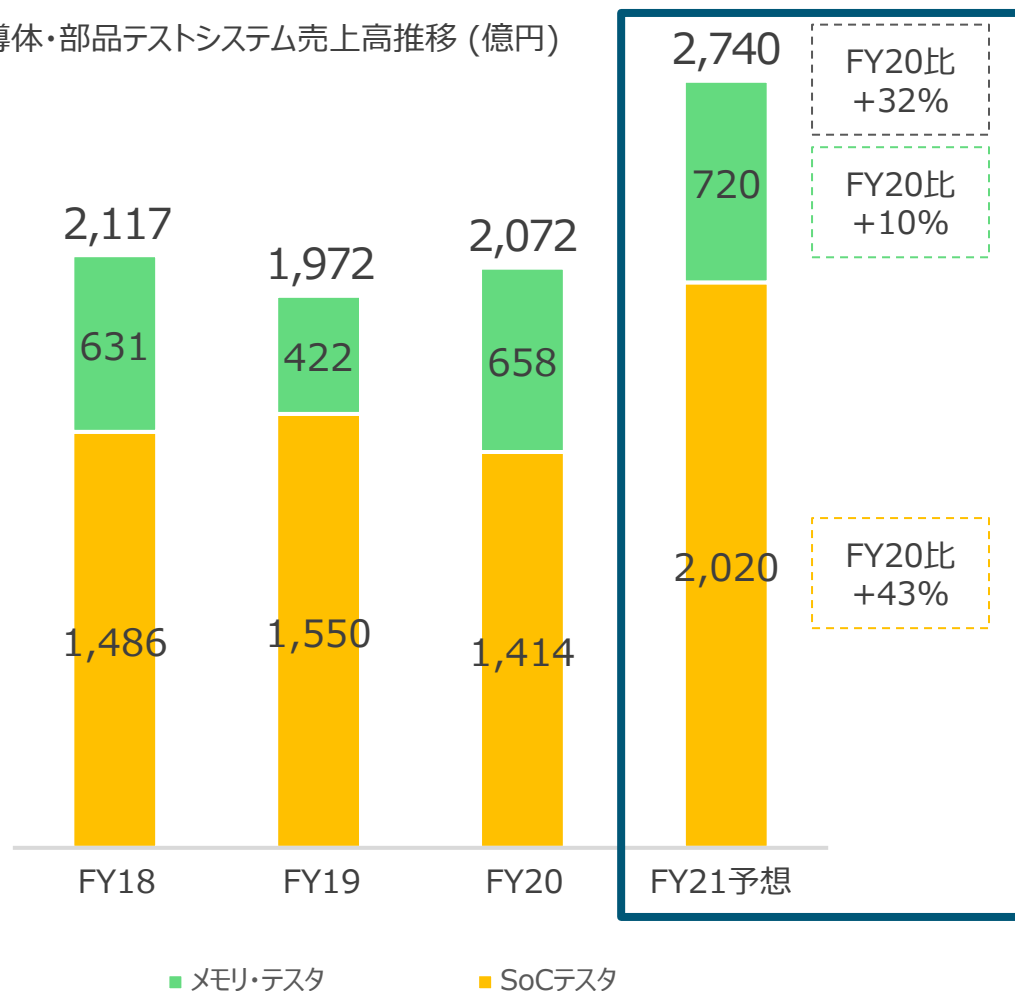
	FY20 実績	FY21					前年度比		(参考)新旧予想比較	
		1Q実績	2Q実績	上期実績	下期予想	通期予想	増減額	増減率	7月時点 FY21予想	修正額
受注高	3,306	1,612	2,038	3,650	2,000	5,650	+2,344	+70.9%	4,000	+1,650
売上高*1	3,128	971	909	1,880	2,120	4,000	+872	+27.9%	3,850	+150
営業利益	707	261	214	475	575	1,050	+343	+48.5%	1,000	+50
営業利益率	22.6%	26.9%	23.5%	25.3%	27.1%	26.3%	+3.7pts		26.0%	+0.3pts
税引前利益	696	257	216	473	577	1,050	+354	+50.8%	1,000	+50
当期利益	698	193	159	352	436	788	+90	+12.8%	750	+38
当期利益率	22.3%	19.9%	17.5%	18.7%	20.5%	19.7%	-2.6pts		19.5%	+0.2pts
受注残	1,088	1,729	2,858	2,858	2,738	2,738	+1,650	+2.5倍	1,238	+1,500
研究開発費	427	118	117	235	245	480	+53	+12.4%	470	+10
設備投資	137	26	47	73	167	240	+103	+75.2%	150	+90
減価償却費	118	34	36	70	75	145	+27	+22.9%	135	+10
為替レート*2	1米ドル	106円	109円	110円	110円	110円	110円	4円 円安	110円	-
	1ユーロ	123円	131円	131円	131円	135円	133円	10円 円安	134円	1円 円高

*1:合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれます

*2:為替レート変動が今年度の営業利益に与える影響の最新見通しは、対米ドルが1円安時+10億円です。対ユーロは-1.5億円です

FY21見通し（事業別）

半導体・部品テストシステム売上高推移（億円）



半導体・部品テストシステム事業

<SoCテスト>（7月予想比 +80億円）

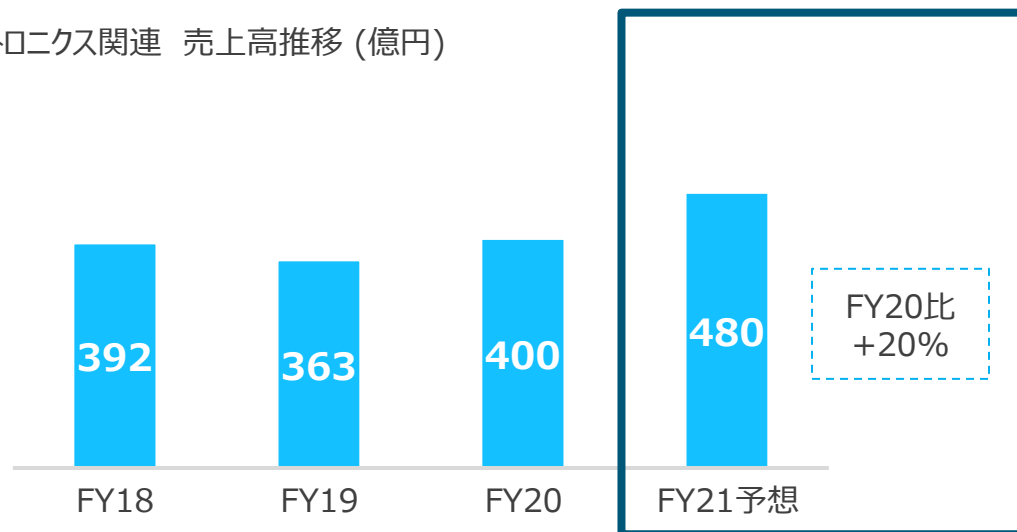
- APUやHPCなどの先端プロセス品における需要の伸びがFY21の業績を牽引
- 自動車向けや産業機器・民生関連なども顧客の旺盛な追加投資が継続

<メモリ・テスト>（7月予想比 +30億円）

- DRAM高速試験向けの好調に加え、不揮発性メモリ向けの需要が好転

FY21見通し（事業別）

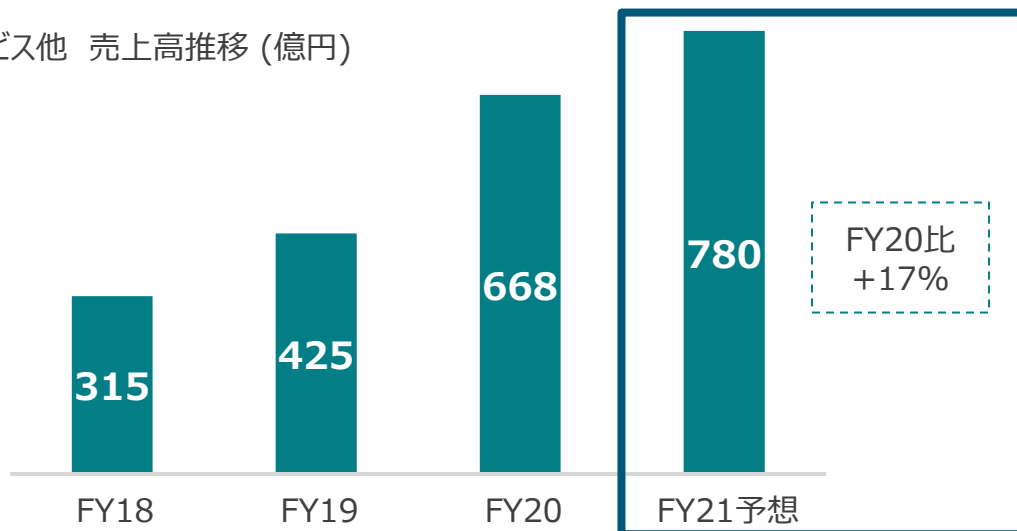
メカトロニクス関連 売上高推移（億円）



メカトロニクス関連事業（7月予想から変更なし）

- テスタ需要と連動し、同製品向けのデバイス・インタフェースやテスト・ハンドラの需要が堅調
- EUV露光の普及を受け、ナノテクノロジー製品の販売も順調

サービス他 売上高推移（億円）



サービス他事業（7月予想比 +40億円）

- システムレベルテスト製品需要が堅調に拡大
- 当社製品の設置台数の着実な伸びを背景に、保守サービスも順調

中長期成長に向けた取り組み

「グランドデザイン」(中長期経営方針 FY18-27)

<ビジョン・ステートメント>

「進化する半導体バリューチェーンで顧客価値を追求」

<目標>

「売上高4,000億円以上の早期達成」

第2期中期経営計画(FY21-23)

下記 2 軸を追求し、持続的成長に向けた基盤を強化

- ① 当社の強みを活かして既存事業を拡大
- ② 中長期テーマである新規事業の育成

	FY21-23平均
売上高	3,500-3,800億円
営業利益率	23-25%
当期利益	620-700億円
ROE	20%以上
1株当たり当期利益(EPS)	320-370円

第2期中期経営計画における成長投資

<M&A等の戦略投資: 1,000億円>

- ✓ End-to-Endのテストソリューション事業強化につながる領域でシナジーを見込める良好な案件を探索
- ✓ 新事業立ち上げなど、中長期視座の取り組みも実施

<研究開発投資: 1,500億円>

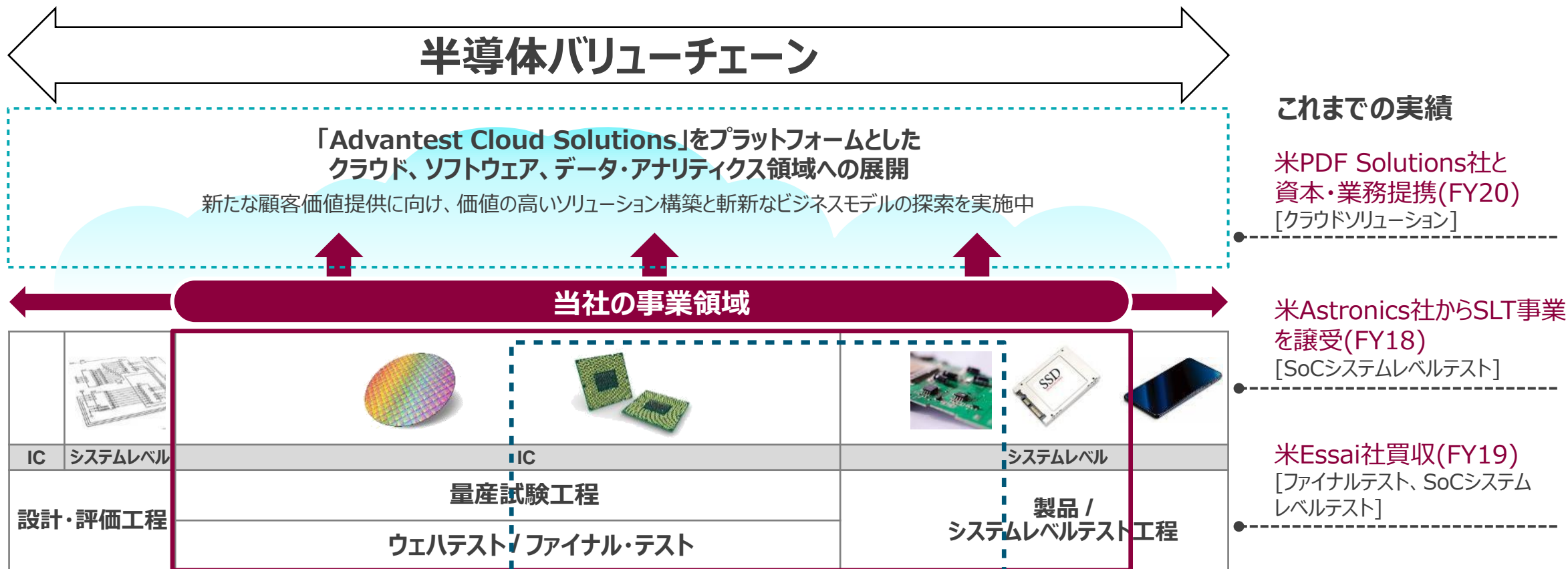
- ✓ 価値創造と社会貢献実現の原動力として、高い水準を維持

<設備投資: 400億円>

- ✓ 成長基盤強化に向けた開発力、生産力、業務効率向上用途、および社員のエンゲージメント向上のための投資

上記に則り、FY21も積極投資を実施

グランドデザインに基づく事業拡大・強化の取り組み



HPC、5G、IoTなどハイエンド分野のテスト需要拡大を踏まえ、この領域の事業強化を推進中

- ✓ システムレベルテスト製品の生産能力拡大投資を計画
- ✓ テストインタフェース・ボード事業強化に向け、米R&D Altanova社の買収を現在手続中

米R&D Altanova社の買収について

概要

- R&D Altanova社は、米国ニュージャージー州に本社を置く、テスト用インタフェースボードのリーディングサプライヤー（非上場）
- 関係国当局の承認取得等、一般的なクロージング条件を満たすことによって成立。2021年内の完了見込み
- 現時点ではFY21に対する業績影響は軽微な見込み



戦略的意義

- 同社の持つ高いエンジニアリング能力・製造能力、優良顧客基盤は、当社事業と高い相互補完性。テストからデバイス端までのトータルテストソリューションを拡充
- HPCなどの成長分野において、顧客ニーズへの対応力強化を通じ当社プレゼンスを向上
- リカーリングビジネス強化。収益基盤の多様化・安定化に寄与



今後のハイエンド半導体テストに不可欠なハイクオリティEnd-to-Endソリューションを、一気通貫に提供

サマリー

- 半導体市場の拡大基調が続き、試験装置に対する高水準の投資が継続
- 事業拡大施策を着実に実行、収益基盤の多様化を推進
- 部材調達の安定化と生産能力の増強で、顧客の旺盛な需要へ対応
- 引き続き以下のリスクに留意しつつ、中計目標の達成に邁進
 - ① サプライチェーンの目詰まりによる部材調達難、物流の逼迫
 - ② 期待される世界経済回復の遅れによる需要減退
 - ③ 米中対立や経済安全保障政策がもたらす半導体産業への影響

ESG・外部評価関連トピックス (2021年4月～10月)

群馬工場の使用電力を再エネ由来100%に切り替え完了

- 米国、欧州の子会社のRE100を達成済(FY20末時点)
- グループ全体の再生可能エネルギー導入率はFY21末に50%となる見込み



半導体製造装置メーカーを対象とするVLSIresearch社の顧客満足度調査において、2年連続で第1位を獲得



「ESG推進基本方針」と「ESG行動計画2021」を策定

- 第2期中期経営計画のもと、全社のESG施策の展開を加速

マテリアリティ (5つの戦略)

- (1) コアビジネスの強化、重点投資
- (2) オペレーショナル・エクセレンスの追求
- (3) さらなる飛躍への価値探求
- (4) 新事業領域の開拓
- (5) ESGのさらなる推進

重点戦略 (コーポレート)

Sub Strategies

+

ESG推進
基本方針

ESG行動計画

統合報告書2021を発行

- 気候変動関連を中心にサステナビリティ開示を強化
([リンク](#))

